



“がん”にまつわるお話し

山口先生より、一般的ながんの情報や当クリニックの取り組みなどを解説します。

院長／山口 龍生

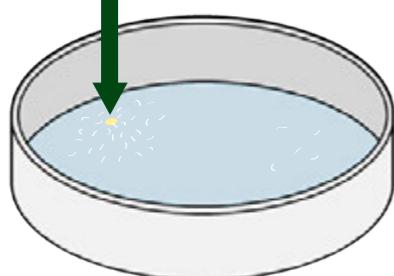


わずか1滴の尿と線虫を利用する方法で、「がんの有無」を識別できるという研究成果が、
九州大学の廣津崇亮助教らの研究グループにより、2015年に発表されました。
高い正確性や低コストという面で、大きな注目を集めています。

※線虫：細長い糸状の動物で、その多くは体長1mmほど。土壤中、水中、他の動植物の体内など、ありとあらゆる場所に存在している。

線虫は、がん患者の尿が好き

がん患者の尿



○線虫の特徴

線虫は、好きな匂いに寄っていき、嫌いな匂いから逃げるという性質(走性行動)がある。

○がん特有の「匂い」

がんの匂いは、血液、尿、はき出した息など、様々なものに含まれている。

○高い感度

線虫を専用の容器に入れ、がん患者と健常者の尿を別々に1滴程度加えたところ、早期がんを含めたがん患者の尿にのみ、

95.8%という高い感度で、線虫が集まった。

2020年からの実用化を目指し、準備が進められています。
今後の課題は、この検査では「がんの有無」だけを判断するため、「どの部位のがんがあるのか」までを明確にできるよう、さらに研究が進められています。
なお、線虫ががんの匂いに寄っていく理由については、えさの匂いと勘違いしているのでは、と考えられています。

実現すると
画期的ですね!



医療法人 西隆会
厚生仙台クリニック
KOUSEI SENDAI CLINIC

お客様専用フリーダイヤル

0120-501-799
FreeDial

〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1丁目5-45

TEL.022-727-7667(代) FAX.022-727-7668

<http://kousei-sendai.jp>

電話受付:平日(月曜日～土曜日)9時～17時

休診日:日曜日・祝日

ご不明点やご質問等ありましたら、お電話にてお問い合わせください。
また、ホームページにも掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

KOUSEI 47

NEWSLETTER

KOUSEI

NEWSLETTER こうせいだより

47

2019.10.1

医療法人 西隆会
厚生仙台クリニック

■発行 医療法人 西隆会 厚生仙台クリニック 宮城県仙台市青葉区柏木1丁目5-45
掲載の内容についてのお問い合わせは、医療法人 西隆会 厚生仙台クリニックまでお客様フリー ダイヤル 0120-501-799 □電話受付: 平日(月曜日～土曜日)9時～17時 □休診日: 日曜日・祝日

CONTENTS

- 02 連載 「健康友の会」のみなさまへ 2019年7月より新体制へ変わりました
- 04 連載 こちら健康相談室 ～食後高血糖を知っていますか？その1～
- 06 Q&Aコーナー 知っておきたい医療の知識
- 07 厚生仙台クリニックの結果報告書を解説します



2019年7月より新体制へ変わりました。



やまぐち たつお
院長／山口 龍生

令和元年7月1日より、弊院医師体制を変更致しました。弊院から仙台星陵クリニックへ中川学前院長、仙台星陵クリニックから弊院へ荒井晃医師がそれぞれ異動となりました。

中川学前院長は今まで総合検診全般を担っておりましたが、その広範な経験を仙台星陵クリニックでの二次精査対応の改善向上に活かすため、荒井晃医師は脳PET分野のエキスパートとして今後の認知症早期診断の体制整備に注力するための体制変更となります。

弊院の属する星陵クリニックグループは、複数の画像診断医を擁しております。それぞれの医師がPET、MRI、CT、エコー等各画像診断に精通するため日々スキルアップを図りたいと存じます。

皆様の健康維持に貢献できるよう病巣の早期発見、早期診断に努めてまいる所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

〈プロフィール〉

東北大学医学部卒業、同大学院修了。東北大学医学部臨床教授、加齢医学研究所非常勤講師。星陵クリニックグループ代表。

〈資格〉

医学博士、放射線診断専門医、核医学専門医、老年病専門医、PET核医学認定医、肺がんCT検診認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医

厚生仙台クリニックは、「健康友の会」会員様の健康維持、健康増進のサポートをし、また、ご家族様にも健康意識を高めていただくための健康管理の情報を提供することで、皆様の健康寿命(寝たきりや認知症にならず元気で活動的に生活できる期間)に貢献することを目的としています。

《会員の特典》

- ① 定期的な検診のご案内
- ② PET検診料金の割引(税抜)
(他の割引と併用できない場合があります)
- 会員価格……………5,000円引き
3回目以降のPET検診…10,000円引き
- ③ 健康に関する有用な情報の提供
健康管理に役立つ会報誌「こうせいだより」を適宜提供致します。

《入会方法》

当クリニックで検診をご受診された方は自動的にご入会となります。

- 一度でもご受診された方は会員となります。
- 会員様よりご紹介された方も会員価格でご受診いただけます。

〔院長退任のご挨拶〕



なかがわ まなぶ
医師／中川 学

この度、令和元年6月30日を持ちまして、院長を退任し仙台星陵クリニックの副院長に就任致しました。

院長在任中は格別のご懇情を賜り感謝に堪えません。

ここに謹んで厚く御礼申し上げます。

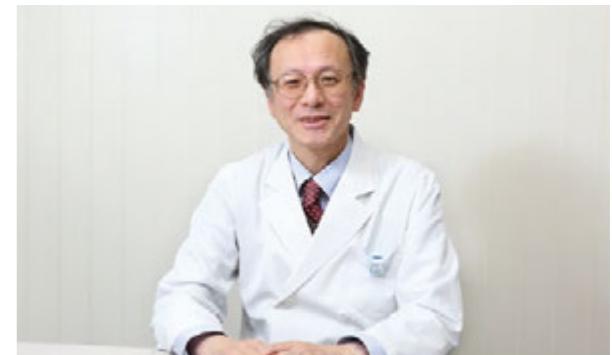
なお、仙台星陵クリニックでは在任中の経験を活かし、検診後の二次精査の改善向上に尽力して参る所存です。

星陵クリニックグループとして、より精度の高い検査を提供し、皆様にご安心して検診を受けていただけるよう、今後も診療に携わって参りますので引き続き宜しくお願い申し上げます。

〔医師の紹介〕



まつい ひろしげ
副院長／松井 博滋



みやざわ ひでみつ
医師／宮澤 英充

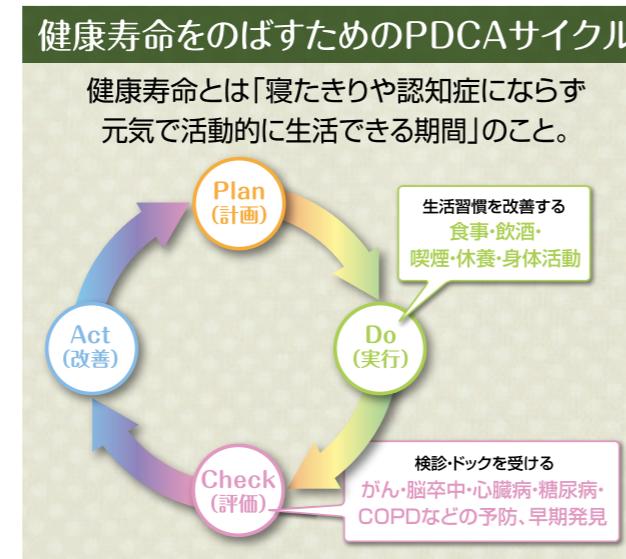


しまむら ひでお
医師／下村 英雄



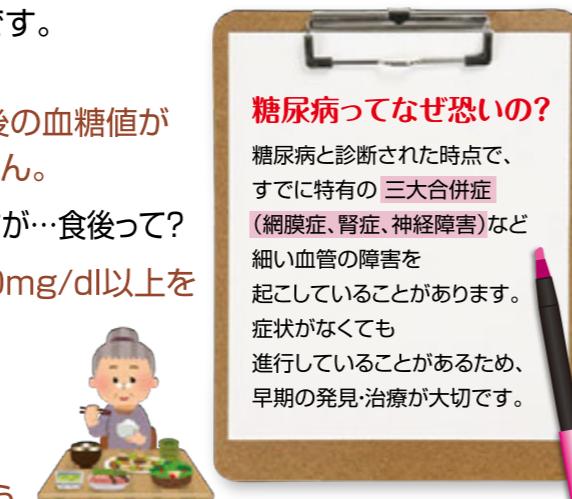
あらき あきら
医師／荒井 晃

受診者さんと、管理栄養士や健康運動指導士との対話から、身近なことをテーマに「健康」につながるヒントをご紹介します。できうことから実行して、健康寿命をのばしましょう。



食後高血糖を知っていますか？ その1

- 毎年健診を受けていて、血糖値はいつも正常です。でも家族に糖尿病がいるので心配です。
- 健康診断で空腹時血糖値が正常範囲でも、食後の血糖値が高い方がいます。一般的な健診では分かりません。
- いつも食事を抜いて、血糖値を測ってもらっていますが…食後って？
- 一口目を食べてから、2時間後の血糖値が140mg/dl以上を食後高血糖といいます。食後高血糖の人は、糖尿病になりやすいと言われているんです。
- もっと詳しく知りたいです。
- では、一緒に食後高血糖について見てみましょう。

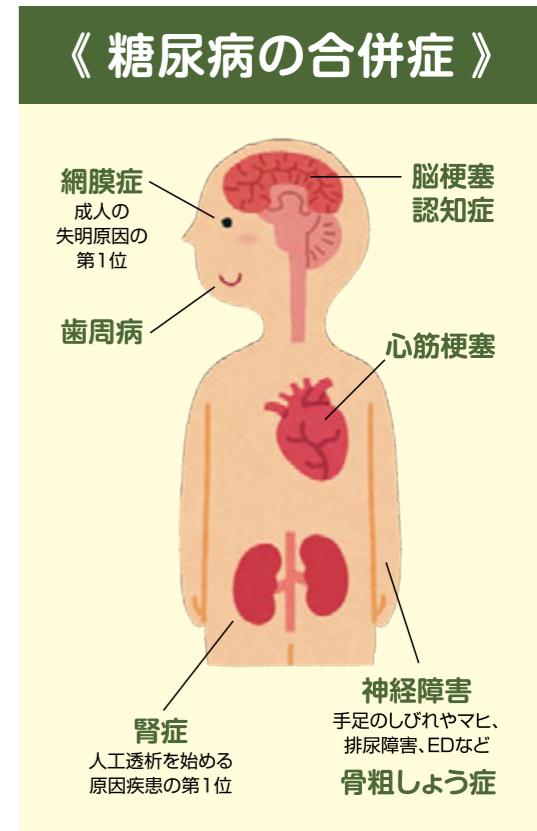
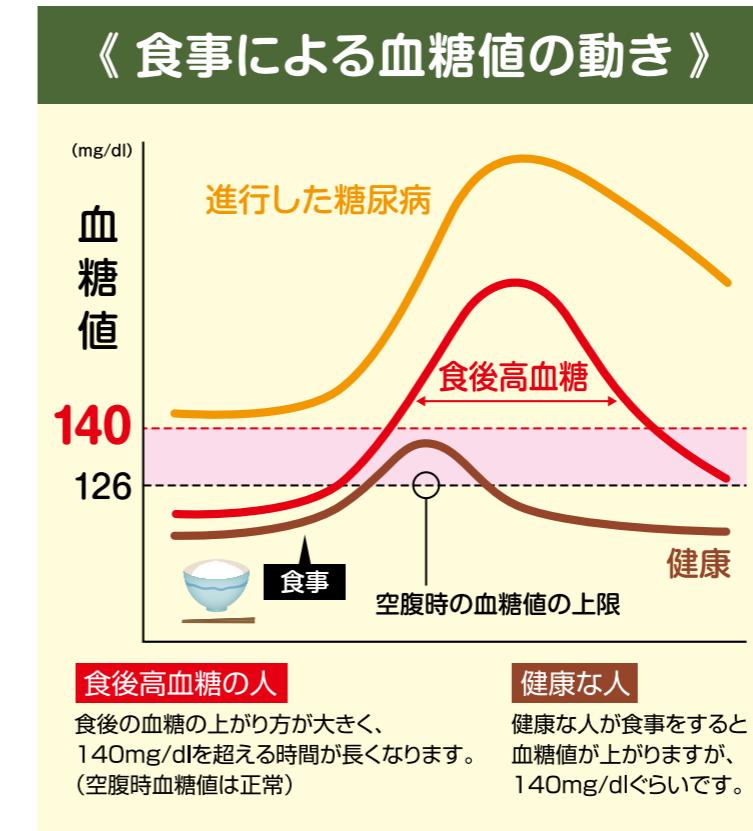


食後高血糖を放置していると危険！

!
糖尿病を発症し、食後高血糖の状態が長く続くと**合併症**が進みやすくなります。

以下に当てはまる方、気になる方は主治医に相談することをお勧めします。

- ① 空腹時血糖値が100mg/dl以上
- ② HbA1c5.6%以上
- ③ 高血圧、脂質異常症、肥満など
動脈硬化リスクのある方
- ④ 家族に**糖尿病の方がいる方**



血糖上昇の波を穏やかに



食後血糖値を緩やかにするために、**上手な食事の仕方**、**無理のない運動の継続**が最も大切になります。
血糖上昇の波を穏やかにして、**健康の貯金**をしましょう。

参考文献：日本糖尿病学会編・著2018-2019 糖尿病治療ガイド

次回は、食後の血糖の上昇を穏やかにする食事、上手な食べ方をご紹介します。

Q&Aコーナー

検診当日や結果報告書へ
同封のアンケートにお寄せいただいた
ご意見、ご質問にお答えしていきます。



Q1 かかりつけ医に画像データを持っていきたいのですが、
発行してもらえますか。

A1 ご希望の方に画像データを発行しておりますが、無料と有料の場合がございます。

当院の検診で所見がみつかり、かかりつけ医での治療や経過観察を目的として
画像を使用する場合は、無料で発行いたします。

個人的に画像データを保管しておきたいなどの理由の場合は、有料で発行して
おります。この場合、料金はメディア1枚あたり3,000~5,000円(税抜)です。

いずれの場合も、ご希望のご住所へ送付いたします。お気軽にお申し付けください。



知りたい医療の知識

心不全

心臓に何らかの異常があり、心臓のポンプ機能が低下し、
全身の臓器が必要とする血液を十分に送り出せなくなった
状態を心不全といいます。



心不全には、急性心筋梗塞や危険な不整脈などにより、
急激に心臓の働きが悪くなる「急性心不全」、また弁膜症や
心房細動などにより、継続的に心臓の機能が低下した「慢性心不全」があります。

主な症状には、息切れ・身体のだるさ・食欲低下・呼吸困難・むくみなどがあります。
胸部レントゲン検査や心臓超音波検査、血液検査、心電図検査などを用いて
診断します。当院の場合は、NT-proBNP検査という血液検査(オプション検査)で
より詳しく心不全の有無を調べることができます。



厚生仙台クリニックの 結果報告書を解説します

本シリーズでは、当クリニックの結果報告書を元に、検査の解説をより詳しくご紹介いたします。

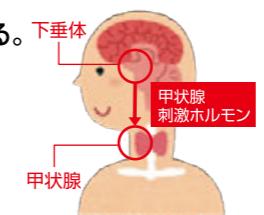
テーマ 甲状腺検査／血液検査

甲状腺に関する代表的なホルモンは、TSH、FT3、FT4です。

これらの異常は心や体に関する様々な症状につながる場合があります。

TSH (甲状腺刺激ホルモン)

- 脳の下垂体から分泌される。
- 甲状腺から分泌される
- ホルモンのFT3、FT4の
バランスが正常に
維持できるよう調整する。



FT3、FT4 (甲状腺ホルモン)

- 甲状腺から分泌される。
- 基礎代謝を上昇させる、心臓や腸の
働きを活性化する、コレステロールや
中性脂肪を下げる、骨・筋肉・脳の成長を
促進するなどの働きがある。



甲状腺の病気は、男性よりも女性に多くみられます。

また症状が様々であること、更年期障害などの婦人科疾患や、うつ病・認知症などの精神疾患とも症状が似ていることから、診断が難しい場合があります。



～甲状腺ホルモンの過剰・不足でおこる症状～

甲状腺機能亢進症

(甲状腺ホルモンが過剰)

ドキドキする・脈が速い

暑がり

汗をよくかく

手足の震え

不眠・イライラ

体重減少

軟便・下痢

甲状腺機能低下症

(甲状腺ホルモンが不足)

脈が遅い

寒がり

肌が乾燥し、カサカサ

言葉や動作が緩慢

眠い、忘れ物が多い

体重増加

便秘

共通症状

だるい

疲れやすい

手や足がむくむ

髪の毛が抜ける

月経異常